



## 第5回日本木材保存協会功績賞

「木造構造物の腐朽原因調査と木質材料の耐久性評価及びそれらの普及広報活動への貢献」

酒井温子（奈良県森林技術センター）

1988年3月に京都大学大学院農学研究科修士課程を修了し、同年4月から財団法人元興寺文化財研究所に勤務。1990年4月に奈良県庁に入庁し、林業試験場（2000年森林技術センターへと組織名称変更）での試験研究業務及び県行政部局での勤務を経て、現在に至る。

### 業績概要

木造構造物の腐朽原因の調査や木質材料の耐久性評価、また木材保存関連企業からの依頼により薬剤の防腐性能試験等を行っています。木造構造物の腐朽部位から担子菌を分離しその性質の解明や、屋外遊具の折損に伴う人身事故の原因調査など、実際に腐朽した木造構造物から課題の掘り起こしを行ってきました。脱炭素社会の実現に向けて、木材の長寿命化も重要性を増しており、木材を腐朽から守る研究は時流に合う取り組みと考えます。

公益社団法人日本木材保存協会との関わりについては、2009年から2015年まで木材保存編集委員、2021年からは授賞選考委員として協会の運営に関わりました。また、日本木材保存協会ウェブサイトにおける「野外杭試験」紹介ページ、企業製品のAQ認定のための研究会委員（2018年）、林野庁補助事業委員（2009-2011年）等に携わるとともに、「木材保存」誌に木材腐朽や木質材料の耐久性評価等に関する研究論文や資料を数多く公表するなど、協会の調査・研究と普及・広報に貢献しました。

### 研究業績

- 1) 酒井温子：「講座」持続社会での木材の長期使用 4. 木材・木造構造物と劣化微生物，日本防菌防黴学会誌，**49**，295-303（2021）。
- 2) 酒井温子ほか：木材腐朽菌12菌株に対する木材および処理木材の耐朽性，木材保存，**46**，196-201（2020）。
- 3) 酒井温子，喜友名朝彦，二宮真也：銅系木材保存剤を加圧注入した杭の耐朽性（2）地際部で分離された担子菌の木材腐朽力と銅耐性，木材保存，**43**，131-138（2017）。
- 4) 酒井温子ほか：野外遊具の木製支柱の腐朽と折損，木材保存，**41**，18-25（2015）。
- 5) 酒井温子，古谷真理子，上野真義，佐藤光正：日本木材保存協会規格 JWPAS-FE（2011）「高耐久木質材料の防腐性能基準及びその試験方法」による MDF の耐朽性評価，日本木材保存協会第31回年次大会研究発表論文集，16-17（2015）。
- 6) 酒井温子，池上智重，民谷浩二：アセチル化木材と高耐朽性樹種の耐朽性評価，木材保存，**39**，24-31（2013）。
- 7) 酒井温子，服部力，和田朋子，鯨島正浩：オオウズラタケによる木造物の腐朽－種の同定と分離菌株の培養特性－，木材保存，**39**，226-232（2013）。
- 8) 酒井温子，岩本頼子，中村嘉明，小林智紀：銅系木材保存剤を加圧注入した杭の耐朽性（1）銅の吸収量と耐用年数の関係，木材保存，**36**，17-22（2010）。
- 9) 酒井温子，岩本頼子：8年で架け替えられた歩行者用木橋の腐朽原因，日本木材保存協会第25回年次大会研究発表論文集，14-18（2009）。
- 10) 酒井温子，岩本頼子，伊藤貴文，佐藤敬之：窒素雰囲気下で熱処理された木材の耐朽性，耐蟻性及び吸湿性，木材保存，**34**，69-79（2008）。

